

会 長	田 蓑 瑞 明	所在地	鳥取市東町三丁目 371-2
事務局長	木村 昭彦	TEL/FAX	0857-23-4148 / 0857-23-4180
設立年月日	平成 21 年 6 月 19 日	Mail	cc-kyusho@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	約 2,400 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kyusho-1
組織構成	生活安全部会、健康福祉部会、文化教養部会、次世代育成部会		

地域コミュニティ計画 『久松地区地域コミュニティ計画』

- 策定期期 平成 23 年 3 月 10 日
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
- 目 標 「みんなで住みよい久松地区をつくろう」
- 1 生活と安全のまちづくり 2 健康と福祉のまちづくり 3 文化と教養のまちづくり 4 次世代を育成するまちづくり

◆ 地域の課題

久松地区は高齢化率が 30% を超えており、年々高まることが予想されています。65 歳を過ぎても働く人が増えたこともあり、町内会や地域の各種団体の役員を受けの人を見つけることが困難になってきています。また、高齢者が亡くなったあと空き家になることも多く、防犯や衛生面での影響がでることがある他、空き家がアパートやマンションに変わることも多く、その住人と地域とのつながりが希薄になってきています。

◆ 主な活動内容

事業① 久松山頂での『大』文字点灯（8月盆の3日間）・三階櫓（二ノ丸）石垣での文字点灯（12月の5日間）

この事業は東日本大震災があった年から、東日本大震災・鳥取大火・鳥取地震等に対して鎮魂の意を表し、「久松山を考える会」が中心となって実施しています。本年はこの事業開始から 13 年目になり、市民の認知度も上がってきており継続が大切だと思っています。

事業② 防災活動

自主防災力を高めるため、今まで防災委員会を中心に検討や訓練などを行ってきたことをベースにして、各町内自主防災会や防災リーダーの一層の連携を図り、地区の自主防災会としての体制、取り組みに発展させました。防災用品の充実、避難所開設のマニュアル作成を進め、実際の避難所開設訓練を定期的に行うなどの活動に取り組んでいます。

また、災害発生時の水源確保のため、公民館敷地に災害対策井戸を完成させました。

事業③ 子ども達の健やかな育成事業

おやじの会、学校保護者会、子ども会などが中心となって、楽しく参加できる企画を多数実施しています。特に夏休み期間中に実施する「久松わくわく体験」は内容も多彩で人気の企画です。

◆ 今後の計画

事業を実施する場合には、各部会・各種団体の動きにかかってくると思います。しかし、各種団体も自分たちの事業もあるもので、少し難しい面もあり、なかなかスムーズにいかないのは当然であると考えています。

コロナ禍で中止していた事業の再開にあたっては、良い伝統を守りつつ、時代に合った新しい取り組みも検討していきます。

今後は、「住みよい久松地区をつくる会」が地域の皆様の協力を得て、どのような事業を実施しているのかという広報を充実させ、沢山の方に参加していただくよう努力をしていきたいと思っています。